



LIXIL



施工説明動画 現調説明動画

リプラス 引違い窓 現場調査キット 使用説明書

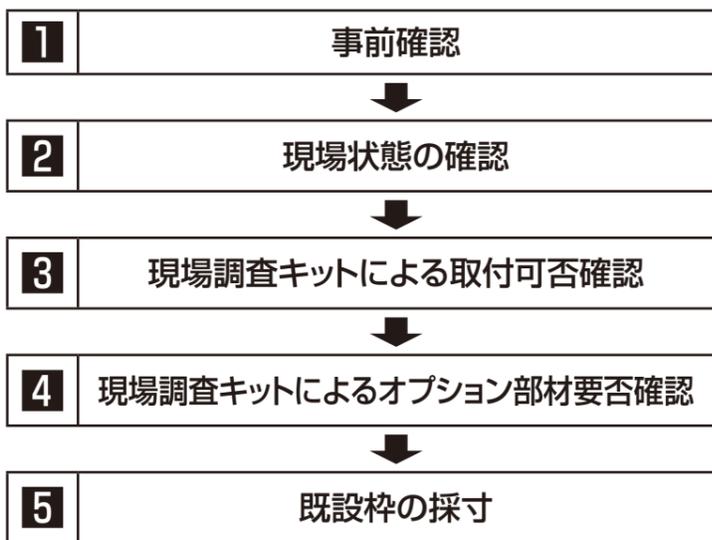
SJ7000 02 2017.3.30 発行

現場調査キット内容明細表

番号	目的	略図	単体枠	雨戸付枠	シャッター付枠	面格子付枠
①	上枠取付ベース材・下枠レベル調整付土台取付可否 補助アングル要否		○	○	○	○
②	下枠内レールアタッチ(大)取付可否		○ ※1	○ ※1	○ ※1	○ ※1
③	縦枠取付ベース材取付可否		○	○	○	○
④	雨戸用枠・シャッター用枠取付可否		-	○	○	○ ※2
⑤	アングルカバー・見切材取付可否 下枠補強材要否		○	○	○	○

※1 下枠内レールが下枠上端より深い場合に使用
 ※2 面格子付枠が縦固定タイプの場合に使用
 ※3 施工時の気密テープ張付け範囲のケガキに使用できます。

現場調査工程概要



取付可否の確認

1 事前確認

■ 躯体構造の確認

木造、RC造、ALC造、鉄骨造(3階以下)の住宅用サッシが対象

■ 設置場所の確認

浴室にはご使用いただけません。

2 現場状態の確認

■ 既設枠の状態確認

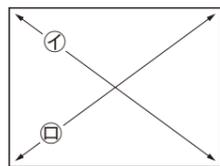
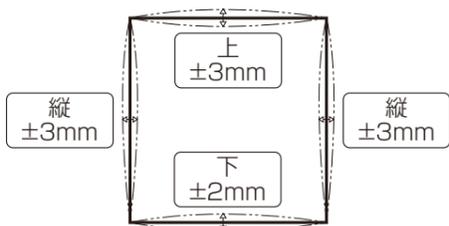
リプラスは既設枠を利用して取付けます。既設枠にグラツキやガタツキが無いことを確認してください。

- ・ 枠の変形などにより障子脱落のおそれがあります。
- ・ 障子開閉時に異音が発生する原因となります。既設枠に起因する障子開閉時の異音は、リプラスを設置しても解消されないことがあることをお施主さまにご説明ください。

■ 既設枠の採寸

各辺のたわみがそれぞれ下図の範囲内であることを確認してください。

既設サッシの対角寸法を測定し、対角寸法の差が3mm以下であることを確認してください。



対角寸法の差が±3mm以下である。

■ 既設窓種類の確認

防火窓	全て	×
引違い窓	単体サッシ	○
	連窓・段窓(ランマ付含む)	×
	二重サッシ	×
	面格子付サッシ	○※
	雨戸付サッシ	○
シャッター付サッシ(電動シャッター付サッシを除く)		○
		○
装飾窓	全て	×

※面格子が取り外せるか確認してください。

■ 納まりの確認

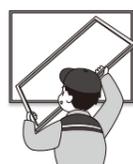
内付	○
半外付	○
外付	×

■ 既設サッシレールの確認

レール形状	上枠レール式	上枠ドブ溝式	下枠階段レール	下枠フラットレール	下枠3本レール
対応可否	○	×	○	×	×

■ 周辺の確認(室内側施工の場合)

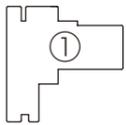
組立てた新設枠を外に振り出す作業が発生します。そのため、新設枠のH寸法、W寸法の長い方の長さだけスペースが必要です。現場の既設サッシを外押えの寸法で測り、スペースを確認してください。



※HWの寸法差が50mm以内の場合は、室外側からの新設枠建込みになります。

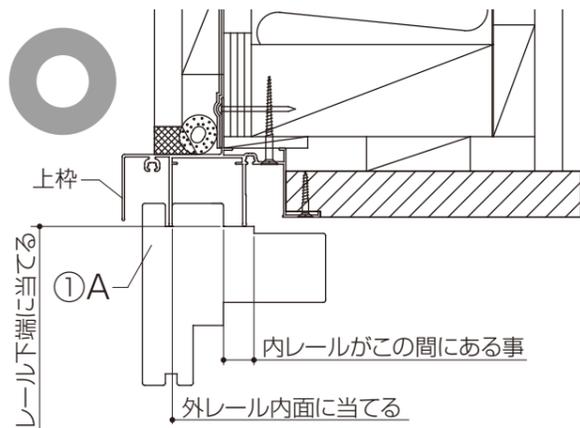
3 現場調査キットによる取付可否確認

●使用するプレート



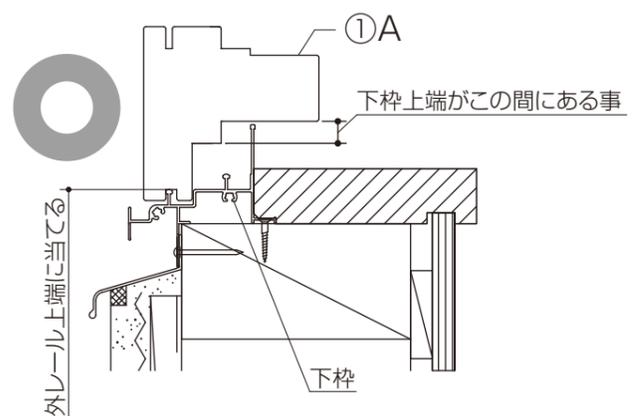
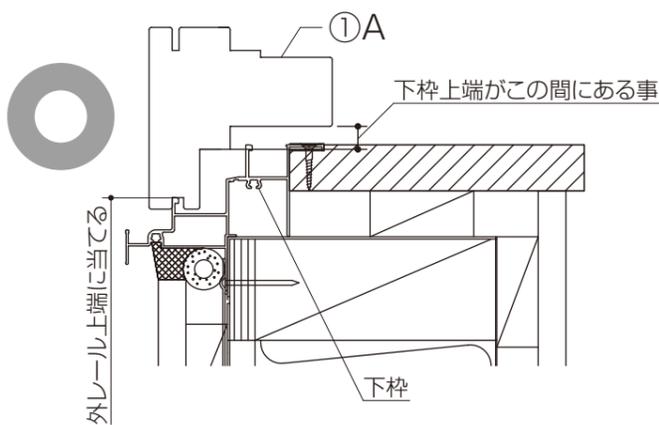
①上枠取付ベース材の取付可否

図のように①Aのプレートを当て、内レールが範囲内であれば取付可です。
(レール芯々寸法が25～35mmであれば取付可です。)



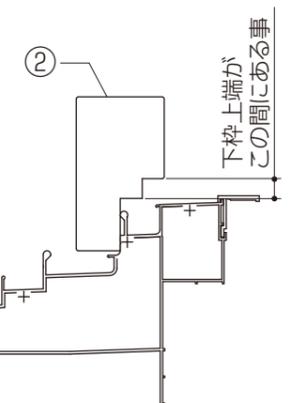
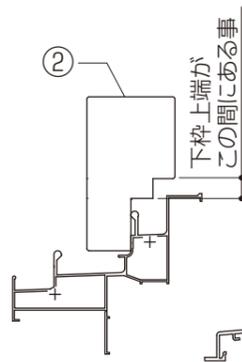
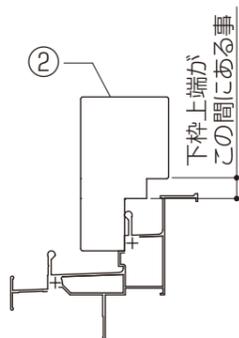
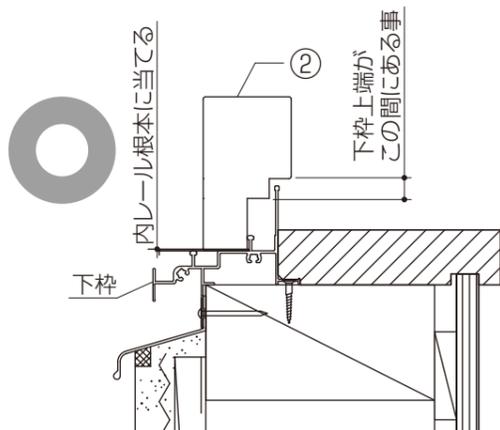
②下枠レベル調整付土台の取付可否

図のように①Aのプレートを当て、下枠上端が範囲内であれば取付可です。
(外レール上端から下枠上端が21～31mmであれば取付可です。)



③下枠内レールアタッチ大の取付可否(下枠内レールが下枠上端より深い場合)

図のように②のプレートを当て、下枠上端が範囲内であれば取付可です。
※内レール上端が下枠上端と同面の場合は確認不要です。



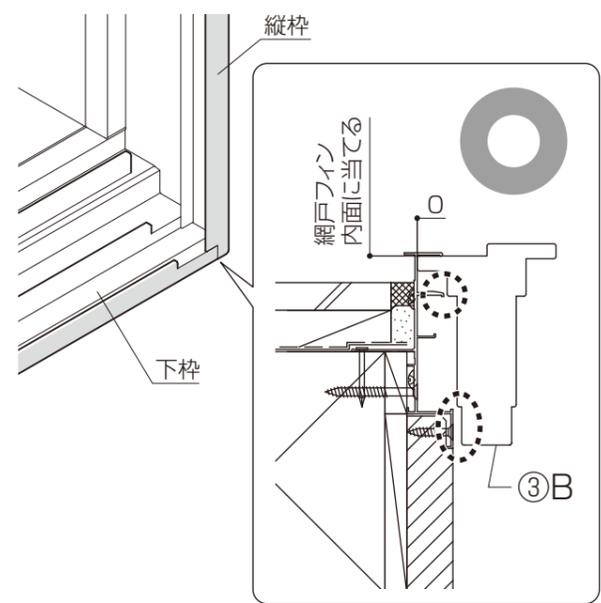
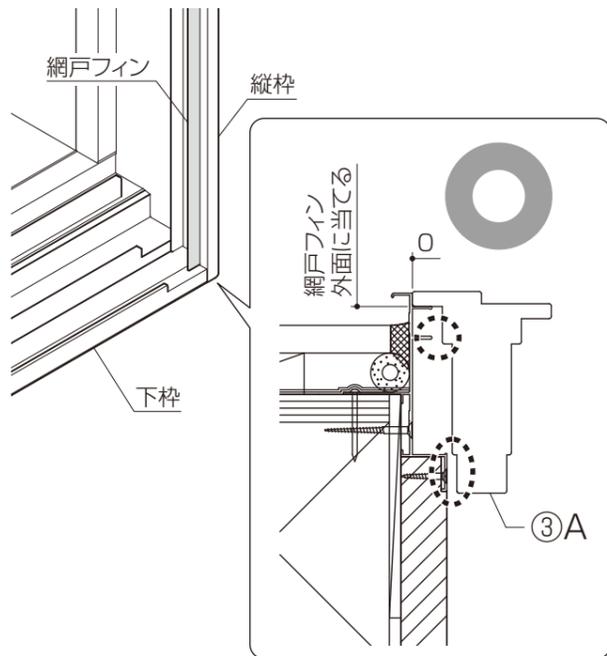
納まり例



④縦枠取付ベース材の取付可否

図のように③のプレートを当て、縦枠・窓枠に干渉しなければ取付可です。

(縦枠網戸フィンが上下枠と同面の場合)





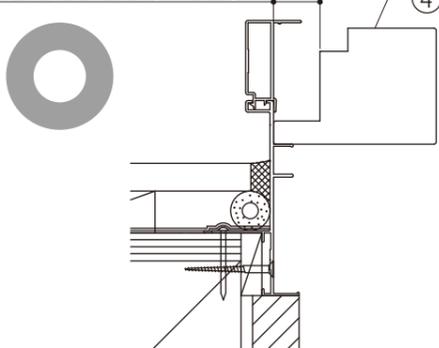
⑤新設雨戸・シャッター用枠の取付可否

図のように④のプレート当て、縦部材の飛び出しが範囲内であれば、新設枠の建て込みが可能です。
※単体、面格子付(上下固定タイプ)は確認不要です。

■雨戸付枠、面格子付枠(縦固定タイプ)

(戸当り面からの縦部材の飛び出しが20mm以下であれば取付可です。)

縦部材の飛び出しがこの間にある事

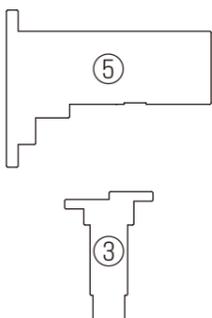
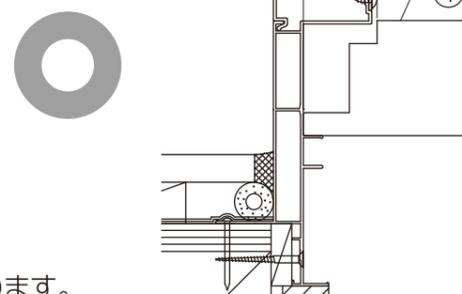


※範囲外の場合は、新設サッシW寸法を小さくして対応できる場合があります。
詳細はカタログの採寸ページを参照してください。

■シャッター付枠

(戸当り面からの縦部材の飛び出しが32mm以下であれば取付可です。)

縦部材の飛び出しがこの間にある事
ガイドレールが当たる場合は、
ガイドレールを取外した状態で
範囲内であれば取付可です。

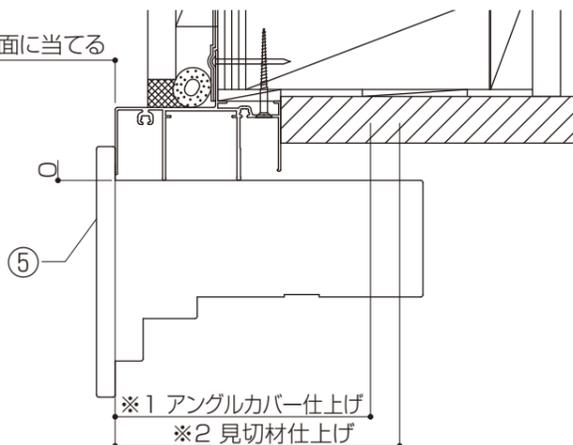


⑥アングルカバー、見切材の取付可否

<見込み> 図のように⑤のプレート当て、既設窓枠にアングルカバー取付け面があるか(※1)、見切材取付け面があるか(※2)、確認してください。

■上枠

網戸レール外面に当てる

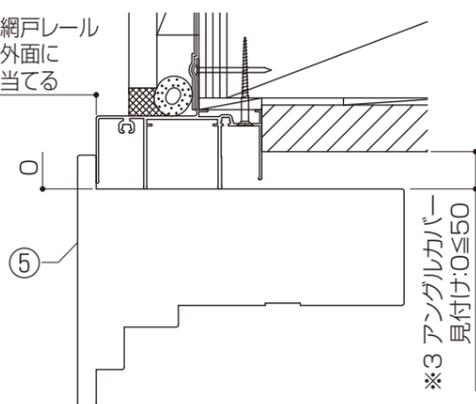


※1 アングルカバー仕上げ
※2 見切材仕上げ

<見付け> 窓枠まで段差が深い場合は、アングルカバー見付けが足りるか(※3)確認してください。

■上枠

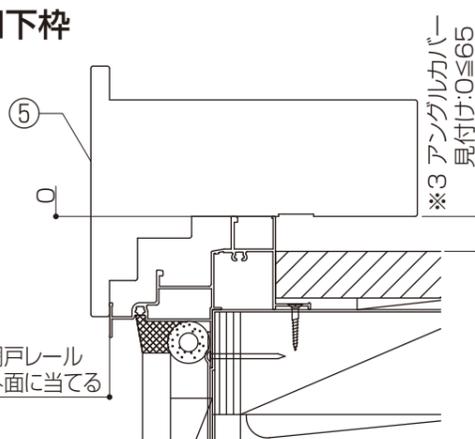
網戸レール
外面に
当てる



※3 アングルカバー
見付け:0 ≤ 50

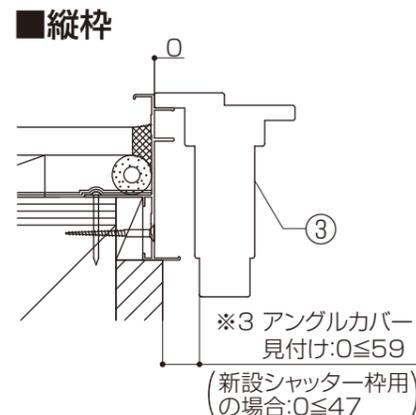
■下枠

網戸レール
外面に当てる



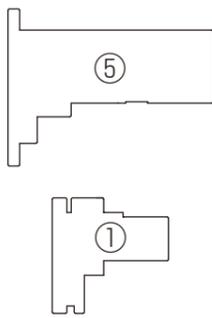
※3 アングルカバー
見付け:0 ≤ 65

■縦枠



※3 アングルカバー
見付け:0 ≤ 59
(新設シャッター枠用
の場合:0 ≤ 47)

4 現場調査キットによるオプション部材要否確認



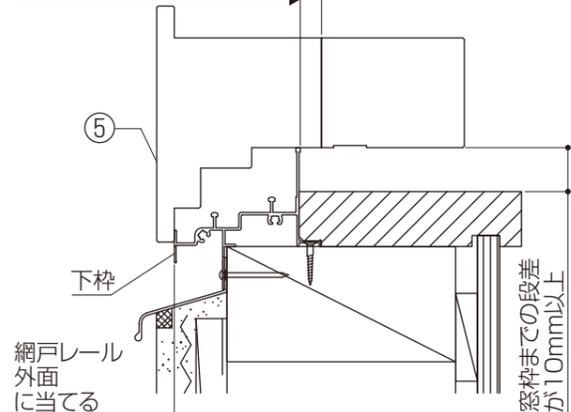
下枠補強材・補助アングルの要否

図のように①B、⑤のプレート当て、手配が必要かを確認してください。

[手配が必要な場合]

<下枠補強材>

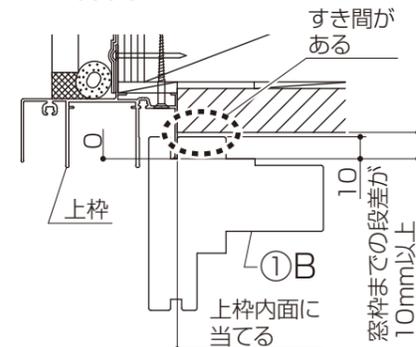
既設下枠内面がこのラインより室外側
既設下枠内面



窓枠までの段差
が10mm以上

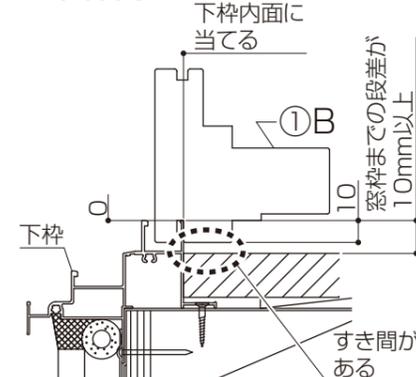
<補助アングル>

■上枠側



すき間がある
10
窓枠までの段差が
10mm以上

■下枠側



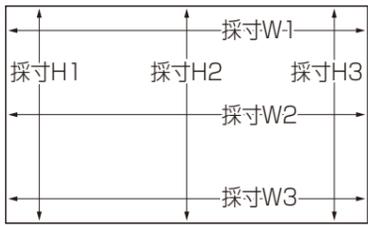
下枠内面に
当てる
10
窓枠までの段差が
10mm以上
すき間がある

※下枠補強材を手配する場合、下枠側が
該当しても手配不要です。

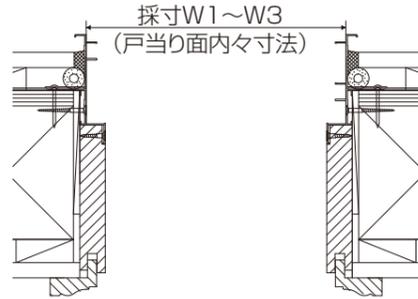
5 既設枠の採寸

採寸①. 既設サッシの内々寸法(3カ所)採寸W1~W3、採寸H1~H3を採寸の上、最小値を採寸W、採寸Hとしてください。

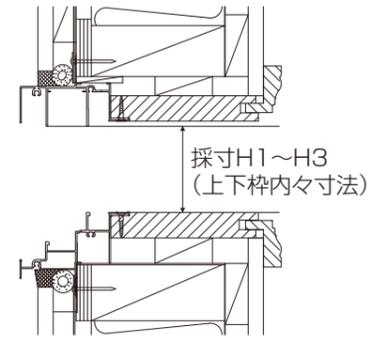
■測定箇所(開口正面イメージ)



■採寸Wの測定箇所(横断面図)



■採寸Hの測定箇所(横断面図)



■施工時間の短縮ポイント

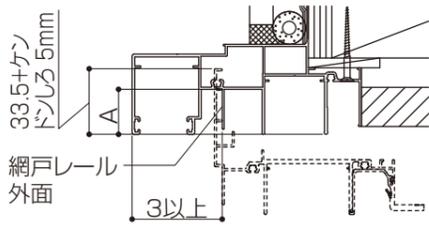
■新設枠のカット

リプラス枠は既設上下枠の網戸レール外面を基準面にして取付けるため、既設枠が雨戸付・シャッター付・面格子付の場合、新設枠のカット(上下または四方)が必要になります。(納まりにより単体枠も該当します。)

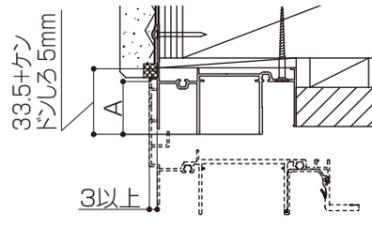
既設枠の下図の箇所を採寸しておくことにより、事前にカットすることが可能になります。

[カットが必要な場合]

上枠：カット寸法 $a=38.5-A$ (mm)

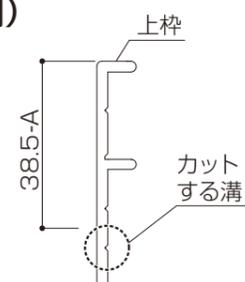


i) Aが38.5未満の場合

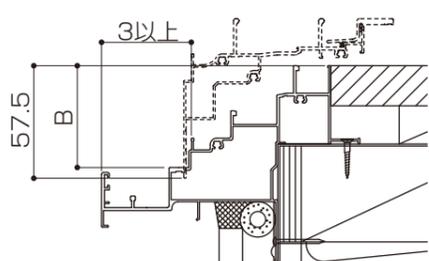


ii) 上下枠網戸レール外面から3mm以上のリブや外壁がある場合

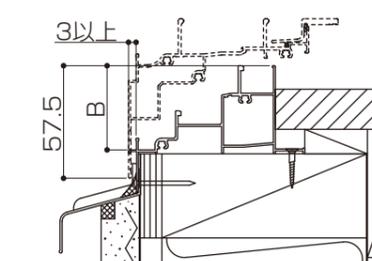
(例)



下枠：カット寸法 $b=57.5-B$ (mm)

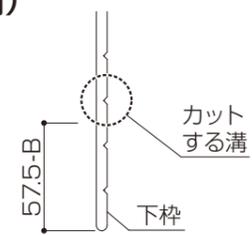


i) Bが57.5未満の場合

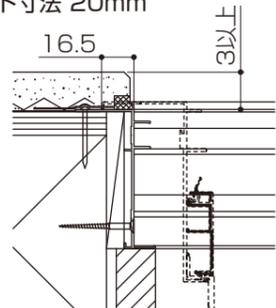


ii) 上下枠網戸レール外面から3mm以上のリブや外壁がある場合

(例)



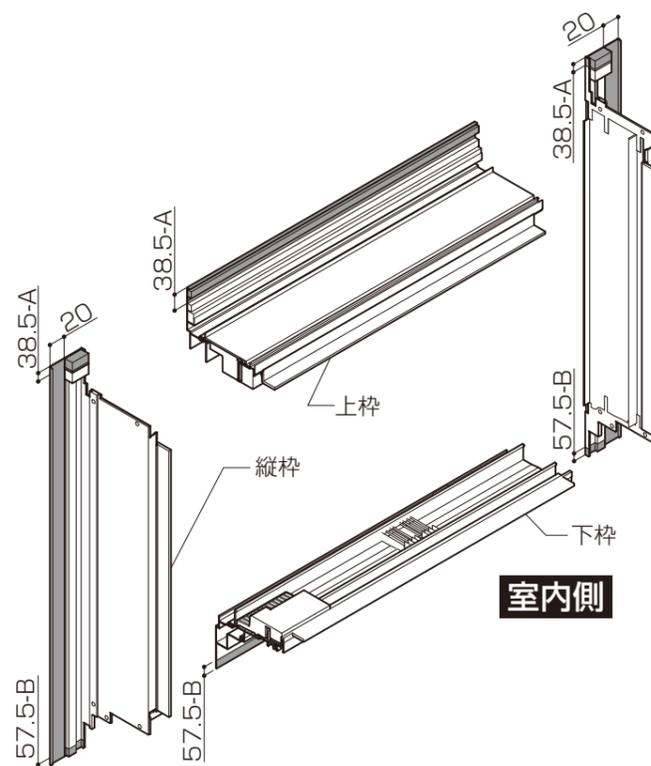
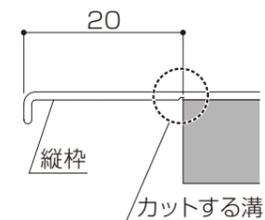
縦枠：カット寸法 20mm



i) 上下枠網戸レール外面から3mm以上のリブや外壁がある場合

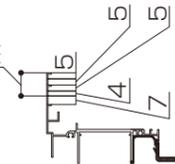
※新設枠が雨戸枠用・シャッター枠用の場合は、カット不要です。

(例)



上枠

切取調整



下枠

切取調整

